



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 東洋埠頭株式会社  
 コード番号 9351 URL <http://www.tovofuto.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部審査課長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三浦等  
 (氏名) 佐古一彦  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5560-2702  
 平成25年11月29日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,771	△4.3	667	△28.7	652	△26.5	348	△7.7
25年3月期第2四半期	17,517	1.0	936	11.3	887	4.4	377	△23.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 766百万円 (134.1%) 25年3月期第2四半期 327百万円 (△13.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.52	—
25年3月期第2四半期	4.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	41,246	19,106	46.2	247.30
25年3月期	40,210	18,533	46.0	239.93

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,058百万円 25年3月期 18,490百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	△0.2	1,600	2.2	1,600	6.0	850	6.3	11.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	77,400,000 株	25年3月期	77,400,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	334,098 株	25年3月期	330,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	77,068,238 株	25年3月期2Q	77,073,303 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第 2 四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第 2 四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月～平成25年9月)における日本経済は、堅調に推移しています。また、今後も復興需要が下支えになること、消費税増税前の駆け込み需要が見込まれることから、回復基調が続くと予想されています。しかし、新興国の経済成長の鈍化、中国経済の大幅減速、原油価格の高騰、欧州危機の再燃等、景気を下振れさせるリスクは依然として数多く存在し、その先行きを不透明な状況にしております。

当埠頭・倉庫業界においては、国内の荷動きは回復してきていますが、まだ業界全体の動きには至っていません。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、鹿島地区の取扱量が増加したものの、その他の地区の取扱量が減少したことにより、グループ全体では、営業収入、営業利益、経常利益とも前年同期実績を大幅に下回りました。また、純利益についても減益となりました。

当期の営業収入は167億7千1百万円(前年同期比7億4千6百万円、4.3%の減収)、営業利益は6億6千7百万円(前年同期比2億6千8百万円、28.7%の減益)、経常利益は6億5千2百万円(前年同期比2億3千5百万円、26.5%の減益)となりました。四半期純利益は、3億4千8百万円(前年同期比2千9百万円、7.7%の減益)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## ○ 国内総合物流事業

## 《倉庫業》

倉庫業における入出庫数量は、170万トン(前年同期181万トン)、平均保管残高は、24万トン(前年同期27万トン)でありました。

一般貨物では、米の取扱いは増加したものの、合成樹脂や紙製品などが大きく減少したため、全体で前年同期より減少しました。

輸入青果物は、キウイは増加しましたが、主力のバナナを始めとして、野菜、トロピカルフルーツも減少したため、前年同期を下回る取扱数量となりました。

冷蔵倉庫貨物は、農産加工品は増加しましたが、冷凍水産物、畜産物ともに減少し、前年同期を下回る扱いとなりました。

倉庫業の営業収入は、53億円となり、前年同期比1.8%の減収となりました。

## 《港湾運送業》

本船揚げによる、ばら積み貨物の埠頭取扱量は、257万トン(前年同期256万トン)でありました。

穀物類は、川崎・志布志両地区での取扱いが減少しましたが鹿島地区での取扱いが大きく増加したため、全体では前年同期を上回る取扱いとなりました。石炭類は、豊洲地区での取扱いは増加しましたが、川崎地区での取扱いが減少したため前年同期を下回りました。その他のばら積み貨物は、ガラス原料の取扱が大きく増加するなど、全般的に取扱いが増加しました。

ばら積み貨物以外の本船揚げ貨物の取扱いは、輸入青果物、紙製品ともに前年同期を下回りました。

コンテナ取扱数量は、常陸那珂地区の取扱いが減少しましたが、東扇島地区の取扱いが増加し、前年同期を上回る取扱いとなりました。

港湾運送業の営業収入は、37億5千7百万円となり、前年同期比2.8%の減収となりました。

#### 《自動車運送業》

自動車運送業務は、東扇島地区の取扱が大きく減少しましたが、東京地区、大阪地区の取扱が増加し、営業収入は、29億7千3百万円となり、前年同期比0.6%の増収となりました。

#### 《その他の業務》

その他の業務では、物流関連施設の賃貸業務及び工場構内作業が、前年同期の実績を下回りました。

その他の業務の営業収入は、33億8千7百万円となり、前年同期比7.6%の減収となりました。

以上の結果、国内総合物流事業全体の営業収入は、154億1千8百万円となり、前年同期比2.9%の減収、営業利益は6億3千1百万円となり、前年同期比28.5%の減益となりました。

#### ○ 国際物流事業

当セグメントは、連結子会社である株式会社東洋トランスとロシアの現地法人であるOOO東洋トランス、OOO TB 東洋トランスの3社で構成されています。

ロシア経済は、欧州経済の低迷による外需鈍化に加えて、資源価格の低迷による財政悪化等により、内・外需ともに厳しい状況にあり、今年になって減速が続いています。

これに伴い当社グループのロシア現地法人においても取扱が減少し、前年同期実績を下回りました。

国際物流事業における営業収入は、14億3百万円となり、前年同期比15.3%の減収、営業利益は3千1百万円となり、前年同期比35.1%の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①全般の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億3千5百万円増加し412億4千6百万円となりました。受取手形及び営業未収入金は4億3千4百万円減少しましたが、有形固定資産の取得や、株価の上昇等に伴い固定資産が14億6千7百万円増加したことなどによるものです。純資産は、その他有価証券評価差額金が4億9百万円増加したことなどで前連結会計年度末に比べ5億7千2百万円増加し191億6百万円となりました。その結果自己資本比率は46.2%で前連結会計年度末比0.2ポイント上昇しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より9千5百万円減少し、13億9千8百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額は減少しましたが、営業利益が減益となったことなどにより前年同期に比べ4千5百万円減少し12億8千万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億3千6百万円の純支出となりました。固定資産の取得による支出が減少したことなどにより前年同期に比べ5億8千万円純支出が減少しております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億4千3百万円の純支出となりました。長期借入による収入が減少したことなどにより前年同期に比べ5億1千2百万円純支出が増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループ営業活動による連結業績は、第3四半期以降荷動きの回復を見込むことから、平成25年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,893	1,798
受取手形及び営業未収入金	4,002	3,567
原材料及び貯蔵品	144	139
前払費用	155	183
繰延税金資産	273	287
その他	488	547
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	6,952	6,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,107	53,764
減価償却累計額	△37,006	△37,513
建物及び構築物(純額)	15,101	16,250
機械及び装置	19,074	19,120
減価償却累計額	△16,689	△16,882
機械及び装置(純額)	2,385	2,238
船舶及び車両運搬具	1,103	1,131
減価償却累計額	△996	△1,015
船舶及び車両運搬具(純額)	106	115
工具、器具及び備品	985	983
減価償却累計額	△895	△899
工具、器具及び備品(純額)	90	84
土地	8,359	8,359
リース資産	173	156
減価償却累計額	△114	△113
リース資産(純額)	59	43
建設仮勘定	13	52
有形固定資産合計	26,115	27,144
無形固定資産		
リース資産	31	25
その他	161	159
無形固定資産合計	193	185
投資その他の資産		
投資有価証券	4,956	5,572
長期貸付金	34	33
繰延税金資産	279	141
その他	1,757	1,728
貸倒引当金	△79	△78
投資その他の資産合計	6,949	7,396
固定資産合計	33,258	34,725
資産合計	40,210	41,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,871	2,665
短期借入金	6,313	5,869
リース債務	45	35
未払法人税等	433	277
未払金	749	2,197
設備関係支払手形	111	257
その他	1,013	988
流動負債合計	11,537	12,289
固定負債		
長期借入金	8,297	7,922
リース債務	43	28
繰延税金負債	2	114
退職給付引当金	1,071	1,097
役員退職慰労引当金	67	59
資産除去債務	550	556
その他	108	70
固定負債合計	10,140	9,850
負債合計	21,677	22,140
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,182	5,182
利益剰余金	4,529	4,684
自己株式	△53	△54
株主資本合計	17,918	18,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	536	946
為替換算調整勘定	35	39
その他の包括利益累計額合計	572	985
少数株主持分	42	47
純資産合計	18,533	19,106
負債純資産合計	40,210	41,246



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業収入	17,517	16,771
営業原価	15,750	15,252
営業総利益	1,766	1,519
販売費及び一般管理費	829	851
営業利益	936	667
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	55	56
受取地代家賃	42	41
その他	40	53
営業外収益合計	140	152
営業外費用		
支払利息	146	125
持分法による投資損失	15	24
その他	27	17
営業外費用合計	189	168
経常利益	887	652
特別利益		
固定資産売却益	17	—
特別利益合計	17	—
特別損失		
固定資産除却損	52	23
投資有価証券評価損	195	—
特別損失合計	248	23
税金等調整前四半期純利益	656	628
法人税、住民税及び事業税	231	262
法人税等調整額	48	12
法人税等合計	279	274
少数株主損益調整前四半期純利益	377	353
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	4
四半期純利益	377	348

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	377	353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	408
為替換算調整勘定	△1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	6
その他の包括利益合計	△49	413
四半期包括利益	327	766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328	761
少数株主に係る四半期包括利益	△0	5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	656	628
減価償却費	906	869
引当金の増減額(△は減少)	△45	17
固定資産処分損益(△は益)	35	19
借地権利金償却額	9	10
投資有価証券評価損益(△は益)	195	—
受取利息及び受取配当金	△57	△57
支払利息	146	125
持分法による投資損益(△は益)	15	24
売上債権の増減額(△は増加)	588	437
仕入債務の増減額(△は減少)	△471	△210
その他	64	△79
小計	2,045	1,785
利息及び配当金の受取額	63	68
利息の支払額	△145	△133
法人税等の支払額	△636	△417
災害損失の支払額	△1	△22
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,325	1,280
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
固定資産の取得による支出	△832	△310
固定資産の売却による収入	23	4
固定資産の除却による支出	△109	△26
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	5	1
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△917	△336
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12	74
長期借入れによる収入	1,500	990
長期借入金の返済による支出	△1,742	△1,890
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△270	△192
リース債務の返済による支出	△29	△23
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531	△1,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△125	△95
現金及び現金同等物の期首残高	1,860	1,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,734	1,398

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内総合物 流事業	国際物流 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,861	1,655	17,517	—	17,517
セグメント間の内部売 上高又は振替高	23	1	24	△24	—
計	15,885	1,656	17,542	△24	17,517
セグメント利益	883	48	931	4	936

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内総合物 流事業	国際物流 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,370	1,400	16,771	—	16,771
セグメント間の内部売 上高又は振替高	48	2	50	△50	—
計	15,418	1,403	16,821	△50	16,771
セグメント利益	631	31	663	4	667

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行なっております。